

日時 12月2日(月)
 場所 1号館15号講義室
 発表時間 1人10分(発表 7分*、質疑 3分)

	時間	氏名	卒業論文題目
1	15:00 - 15:20	須永 数正	銀座に受け継がれる通り抜け空間の表層の多様性に関する研究
2		坂本 遥	ラーニングコモンズから見る、多機能空間におけるしつらえと吹抜けの役割
3	15:20 - 15:40	木村 留実	居場所づくりに関する批判的考察
4		福本 征悟	小湊鉄道の木造駅舎について - 専属大工および沿線住民との関係に着目して -
5	15:40 - 16:00	鈴木 陽介	露地空間の私的利用と浅井戸の関係について
6		堀 智洋	光環境の動的特性からみる夜間都市景観の研究
7	16:00 - 16:30	大山 賢三	都市小公園という逃げ場
8		鈴木 日向	建築設計プロセスにおけるスタディ模型の役割と展開
9		能勢 豊樹	自然発生的な禁止張り紙の空間的特徴と考察
10	16:30 - 16:50	加藤 新大	『建築行脚』試論
11		森 貴裕	都市に明滅する《没入・疎外》空間 - 渋谷の公衆トイレ、喫煙所、パチンコホールの分析を通じて -
12	16:50 - 17:20	太田 創	中世会津地域の仏堂と厨子にみる建築技術の伝播・展開
13		松本 竜弥	仏堂からみる樹種選択と色
14		刘 湛辰	明治西洋館からみる和洋様式の混合
15	17:20 - 17:50	有賀 桃花	障害者支援施設の夜勤業務における見守り支援機器導入の効果
16		石田 琴音	強度行動障害に配慮した障害者グループホームの建築的特徴について
17		小板橋 りさ	地域における障害者の一人暮らしを支える要素 - 自立生活援助事業の利用者と運営の実態 -
18	17:50 - 18:10	上本 詩織	日常生活課題の発現と解決の場としての居場所の研究
19		平井 英佑	多国籍団地の広場における「越境」による活動領域への影響に関する研究

日時 12月3日(火)
 場所 1号館15号講義室
 発表時間 1人10分(発表 7分*、質疑 3分)

	時間	氏名	卒業論文題目
1	15:00 - 15:10	鈴木 徹志	気柱配列吸音体による小空間の低音域吸音に関する検討
2	15:10 - 15:30	杉浦 英怜奈	景観の動きが時間感覚に与える影響に関する研究
3		平石 充	印象と動き、照明との関係性ーダンス作品を用いた考察ー
4	15:30 - 16:10	越智 充有	行動選択の多様性と個人の時刻別CO ₂ 排出量の推定
5		長岡 佑亮	大空間におけるゾーン空調制御の実態と課題
6		丸本 将也	空調制御ゾーンの変化に対応した空間の動的なセマンティックデータモデリング
7		藤間 朋久	省エネ性能表示に対する集合住宅オーナーの意識調査・分析
8	16:10 - 16:40	浅井 夏海	木造共同住宅における空調・日射制御による断熱等級別の温熱環境改善および消費エネルギー削減効果の検討
9		木下 蒼平	学校建築における暖冷房負荷削減と温熱環境改善に関する研究 -屋根断熱・内窓設置・開口部付属物による改修効果の検討-
10		竹中 啓晶	高断熱RC造集合住宅における簡易的な全室連続空調システムの開発と検証
11	16:40 - 17:30	物袋 正雄	C4S におけるCCC製造工場の設置方法に関する研究
12		ウォルシュ 冠 コルンバ	ポーラスコンクリートにおける結合材と揚水機能向上についての研究
13		小暮 裕乃	難燃処理木材の難燃性の持続性について
14		中川 功大	Ice-template法により形成されるセメント硬化体内ラメラ構造の方向性の制御
15		西垣 昂揮	廃モルタルの炭酸化進行度と煅焼温度が再活性化に与える影響
16	17:30 - 17:50	井上 皓陽	令和6年能登半島地震において発生した輪島市大規模火災の延焼拡大性状に関する研究
17		森部 碧	百貨店の火災時における避難行動特性に関する研究ー高齢者に着目してー

日時 12月4日(水)
 場所 1号館15号講義室
 発表時間 1人10分(発表 7分*、質疑 3分)

	時間	氏名	卒業論文題目
1	13:00 - 13:20	福田 孝樹	狭隘道路を多く有する地区における震災時の道路閉塞評価モデルの提案 (A Model to Evaluate the Effect of Earthquake-Induced Blockages of Narrow Streets in an Urban District)
2		山室 彬紗	漸増動的解析を用いた在来木造住宅の耐震性能評価に関する研究—建築基準法改正による影響に着目して— (Research on the evaluation of seismic performance of conventional wooden houses using incremental dynamic analysis —Focusing on the effect of the amendment of the Building Standard Law of Japan—)
3	13:20 - 13:50	大和田 直人	能登半島地震にて被災した小学校校舎の構造解析と被害状況の比較
4		福地 竜紀	地震動の位相差がRC造建物の応答に与える影響の分析
5		和多 毅	非線形有限要素解析に基づく鉄筋コンクリート造片側袖壁付き柱の破壊性状の分析
6	13:50 - 14:00	松浦 有哉	除荷剛性の低下挙動に基づく鋼材の低サイクル疲労寿命評価
7	14:00 - 14:20	加藤 拓真	フロート板ガラスの逐次溶着における超高温環境でのレーザー冷却の適用性
8		河原 匠汰	非平坦地に追従させる月着陸船の接地脚の幾何学特性
9	14:20 - 15:00	大沼 吾朗	不定形破片を用いた平面タイリングの協調的デザイン
10		越智 悠斗	MAS によるオフィスの人流シミュレーション手法および評価手法の提案
11		木村 凌	日本の大手プレハブ住宅メーカーの住宅商品に見られる和室の特徴
12		富田 玲子	日本における住宅用キッチン生産の変遷と近年の傾向
13	15:00 - 15:40	沖 直弥	素人が関わりやすい建築改修に関する研究 —二つの参加型改修事業者の取り組みを比較して—
14		川上 悠輔	ノルウェー木造軸組教会の振動特性に関する研究
15		末松 寛喜	令和 6 年能登半島地震による木造住宅の被害分析
16		萩原 歩香	北海道における使用済み樹脂サッシの回収方法に関する研究